

シンククライアント 新モデル

◆ 概 要 ◆

東日本大震災以降、節電・BCP 対策として、場所にとられない働き方「テレワーク」への関心が高まっており、2014 年 4 月の Windows XP サポート切れに伴う PC 買い換えを機にセキュリティを確保しながらも利用場所を柔軟に選べるシンククライアントへの移行が増えている。

シンククライアント市場の拡大により、求められる適用シーンも増えており、そのニーズに応えるべくミントウェーブでは USB シンククライアント「ゆびくら」、高性能 Tera2 チップ搭載 OS レス端末「MiNT-ACC ZERO」、2 画面表示に対応したコンパクトモデル「MiNT-ACC mini-100」の 3 製品を開発し、製品ラインナップに加えたので、紹介する。

◆ 特 長 ◆

(1) USB シンククライアント「ゆびくら」

- ① USB キーを挿入することで PC をシンククライアント端末化。既存 PC 活用により、導入コストを低減。
- ② USB キー本体に接続先情報を持たせないゼロコンフィグ仕様により、セキュアな運用が可能。
- ③ 専用管理ツール（無償）により、接続先情報や USB キーの利用許可・禁止などを一括で設定可能。



ゆびくら

(2) 高性能 Tera2 チップ搭載 OS レス端末「MiNT-ACC ZERO」

- ① Teradici 社の PCoIP¹⁾ 専用プロセッサの「Tera2321」（Tera2）を採用。
2 画面表示に対応し、3 次元 CAD や映像編集業務に対して高いパフォーマンスを提供。
- ② OS、CPU を持たないことで、低消費電力かつ高信頼性を実現。

(3) 2 画面表示対応独自 OS 搭載コンパクトサイズ「MiNT-ACC mini-100」

- ① DSP+ARM の統合プロセッサによる高速処理を実現
- ② コンパクトサイズながら、2 画面表示に対応を可能。



MiNT-ACC ZERO



MiNT-ACC mini-100

1) PCoIP: PC over IP の略称で、Teradici 社が開発したデータ転送プロトコル。VMware Horizon View で採用されている。

◆ 機能・仕様 ◆

	ゆびくら	MiNT-ACC ZERO	MiNT-ACC mini-100
ハードウェア	USB キー（PC に挿入して利用）	Tera2 チップ搭載、CPU レス端末	DSP+ARM の統合プロセッサ搭載、専用端末
ベース OS	Ubuntu Linux	OS レス	Linux ベースの独自 OS
対応シンククライアント方式	・ Microsoft リモートデスクトップサービス ・ Citrix XenApp, XenDesktop ・ VMware Horizon View（PCoIP に対応）	・ VMware Horizon View（PCoIP に対応）	・ Microsoft リモートデスクトップサービス ・ Citrix XenApp, XenDesktop ・ VMware Horizon View（PCoIP に対応）
PCoIP プロトコル	ソフトウェア処理	ハードウェア処理	ソフトウェア処理
管理ツール	○	○	○
消費電力（アイドル時 / 最大負荷時）	—	6.5 W / 19 W	8 W / 19 W
寸法（W×D×H）	54.6×17.5×11.4 mm	45×130×150 mm	39.5×103.0×143.0 mm
質量	8 g	0.63 kg	0.37 kg